

今年のカレンダーのテーマは、昨年につき「宗祖親鸞聖人に会う」です。
今年、立教開宗800年の記念の年となります。浄土真宗のみ教えと立教開宗の喜びに、先達のお言葉を通してあらためて出遇っていただきたいとの願いから、法語は選定されました。

表紙 青木新門（あおき しんもん）

光明と名号がからみ合い
妙なる音楽を奏でている

本願の名号は浄土往生の因であり、それは父にたとえられます。大いなる慈悲の光明は浄土往生の縁であり、それは母にたとえられます。（親鸞聖人御消息）

1月 浅井成海（あさい じょうかい）

帰ってゆくべき世界は
今遇う光によって知らされる

そのときには気がつかなくても、あのときに教えられたと後になって気づくことが、帰るべき世界を教示する念仏としての如来、すなわち「光に出遇い」「知る」ということ。

2月 金子大榮（かねこ だいえい）

念仏をはなれて
仏もなく自分もない

仏は私たちの前に、念仏として現れてくださる。その南無阿弥陀仏によって、私は自分がここにいるということを知らせていただくのだということになる。

3月 梯 實圓（かけはし じつえん）

南無阿弥陀仏が
私の救われるしるしであり 証である

私たちに先立つ真理に基づく阿弥陀仏の真実のありようを、念仏は真実を証明する「しるし」であると同時に、「証」、すなわち真実そのものである。

4月 近田昭夫（ちかだ あきお）

まことに浄土真宗とは
聞法がいのちであった

「聞法」とは「私が南無阿弥陀仏と称えて生きること」について、「仏さまの最も大切な願いが私に実現していることである」と聞くことです。仏さまの本願の心が私の上に実現していること。そのように聞き容れながら生きることが浄土真宗そのもの。

5月 山本仏骨（やまもと ぶっこつ）

仏さまの光に照らされて
私の心に明りがつく

親鸞聖人は信心を「遇う」とか「聞く」という言葉で顕されている。だから信心ということは、仏さまの光に照らされて、私の心に明かりがつくことだととらえると一番有難い。

「苦勞をしても、ひがんだり、ごうまんにならないようにお育てくださるのが、如来さまである」

6月 大神信章（おおが しんしょう）

いい人 いい雨 いい天気 みんな私中心

念仏を称え仏さまの生き方を受け容れた者を永久に見捨てずに仏さまはナモアマダブツ、ナモアマダ

ブツと育み続ける。すぐに仏意に背いて仏さまから逃げようとする私を追いかけて行って、抱きしめるような仏さまの生き方。「いだかれて 煩惱のまま 五月晴れ」

7月 深川倫雄（ふかがわ りんゆう）
行いと言葉の背後に
世間があるか如来があるか

愚痴が来たら念仏申せ 愚痴の妙薬 なもあみだぶつ 腹が立ったら念仏申せ 仏は火の手の水となる（浅原才一） 念仏は煩惱に染められた日々の言動を都合良く消し去るものではなく、阿弥陀如来に出会えた喜び。

8月 宮城顛（みやぎ しずか）
私たちの人生の争いは
いつも善と善との争いだ

善悪の争いではなく、双方が自分を善だと言って譲らず、互いが考えている「善」と相容れない相手の「善」を「悪」と捉えてしまうところに争いが起きている。

9月 寺川俊昭（てらかわ しゅんしょう）
如来ご自身が南無阿弥陀仏となって
衆生の前にあらわれてくださった

本来は私たちに認知できるものではない阿弥陀如来や、その誓願や覚り、はたらきが、私たちが知覚できる「南無阿弥陀仏」という名号となってはたらきかけている。自分で認知し、理解したつもりになっていることに気づくことも名号となって私たちの前に姿を示された意味。

10月 安田理深（やすだ りじん）
人間が人間だけでやっていく
現代の問題はそこにある

み教えを聞かせていただくと、煩惱をもつ身とは自己中心にしかものを見れないと知らされる。私の目線での仲間は結局自分にとっての都合の枠から抜け出ることはない。仏さまの目線が我々には必要。僧とは仏さまの眼を通した仲間。

11月 内藤知康（ないとう ともやす）
仏のはたらきが
私の声となったお念仏

私の口から声となってお念仏が出てくるということは、阿弥陀さまが私と一緒にいらっしゃるという証明。阿弥陀さまは自分よりもあなたが大事という立ち位置で常にいらっしゃる。お念仏しているすがたは阿弥陀さまと私が共にある証明。

12月 米沢英雄（よねざわ ひでお）
貴方の感じられている虚しさこそ
真実の世界への強烈な憧れなのです

人生一貫して命がけになれるものであうことが、その虚しさ・生きづらさを超えていく道。『如来大悲の恩徳は』ここに深い感動が脈をうっている。感動を覚えながら一日一日送る姿こそ「あなたの憧れの世界」。いのちを大事にするということは、老いる私も、痛む私も、死んでいく私も大切にしていくこと。

（参考文献）「月々のことば」本願寺出版社